

## 「支え合い自ら輝く地域づくり」を目指して

10月に行われた「たてしなふれ愛むら」にて、「佐久市内山いずみ会」と「たてしな“ずく”りの会」と共同で、ピザのワークショップを行いました。

佐久市内山から、手作りのピザ窯や材料を持ってきてもらい、ピザの作り方を内山のお子さんから立科町のお子さんやお客さんに教えていただき、子ども同士や多世代の交流ができました。

自分で好きな具をトッピングして、手作りのピザ窯で焼いたピザは「おいしい!」と好評で、ピザ窯に興味を持たれた方もいらっしゃいました。

さらに、たてしな“ずく”りの会では、町内の竹を使った**ベンチの作成(子どもたちとのワークショップ)**も計画中です。

ベンチを作り、地域に置いてもらうことで、多世代交流や地域に集いの場をつくりたいと考えています。



ベンチ作りに参加したい方、竹や材木などの材料を提供して下さる方、ベンチ作りの経験のある方、ベンチをぜひ置いてほしいという方または場所を募集中ですので、たてしな“ずく”りの会事務局：高齢者支援係（電話88-8406）まで、ご連絡ください。

## こちら 地域包括支援センターです!

### 中学生向け認知症サポーター養成講座を開催しました

10月28日(月)に、立科中学校にて中学3年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。認知症サポーター養成講座は、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る支援者を養成する講座であり、今回初めて中学生を対象に開催しました。講師にはNPO法人やじろべーの中澤純一先生をお迎えし、認知症の具体的な症状やどうしてそのような症状が起こるのか、認知症の方やそのご家族の気持ち、認知症の方に接するときの心構えなど、丁寧にお話していただきました。参加された生徒さんからは、「否定ばかりするのではなく、相手に優しく合わせてあげることが大切だとわかった」、「周りの人を気づかい、自分から行動できるようにしたいと思った」などの感想をいただきました。今回の講座を通して、生徒の皆さんが認知症の方やその家族の気持ちを考えて優しく接することができる人になってもらえたら嬉しいです。



地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座の出前講座も開催しています。地域や職場などの集まりにも出向いて開催しますので、ご希望のある方は、地域包括支援センターまでご連絡ください。

【お申込・お問合せ】立科町地域包括支援センター（高齢者支援係内） 電話88-8418 有線2311